

標 題 : Mediterranean diet during pregnancy and childhood for asthma in children:
A systematic review and meta-analysis of observational studies.
小児のぜん息に関する妊娠中および小児期の地中海食事 :
観察研究の系統的な再検討およびメタ解析

著 者 : Y. Zhang, et al. (中国 重慶医科大学附属児童病院 呼吸器科)

掲 載 誌 : *Pediatr. Pulmonol.* 2019 Apr 17. doi: 10.1002/ppul.24338.
[Epub ahead of print] [発行に先立つ電子出版]

要 旨 :

目 的 : 妊娠中および小児期の地中海食事の高い順守と小児のぜん息および喘鳴の
リスクとの間の関連を評価すること。

方 法 : PubMed、EMBASE および Cochrane Central Register of Controlled
Trials (コクランの臨床試験データベース) の開始から 2018 年 10 月 30 日まで
の検索を我々は実施した。

妊娠中または小児期の地中海食事の高い順守と小児期のぜん息または喘鳴の
リスクとの関連について、リスク推計および対応する信頼区間を提示する観察
研究を収録した。

収録した全ての研究の方論的な質を評価した。

ランダム効果モデルを使用して、集計オッズ比(OR)を計算した。

結 果 : 18 件の観察研究をこの再検討に収録した。

全ての研究は中程度から高い質であった。

妊娠中の地中海食事の高い順守は最初の 12 ヶ月で喘鳴発症率の低下と関連
し(OR, 0.92; 95%信頼区間[CI] 0.88-0.95; P<0.001)、そして小児期中の喘鳴の
病歴(OR, 0.51; 95%CI 0.37-0.70; P=0.001)および現在の喘鳴(OR, 0.97; 95%CI
0.95-0.99; P=0.013)の発症率の間に逆相関があると、まとめたデータが示した。

しかし、妊娠中および小児期の地中海食事の高い順守と、診断されたぜん息
などの他のメタ解析の評価項目との間に有意な関連はなかった。

結 論 : 妊娠中および小児期の地中海食事の高い順守は、幼い頃の小児には喘鳴に対
する短期間の効果があるとみえる。

しかし研究の異質性のため、これらの研究結果を慎重に解釈すべきである。

著作権 2019 年 Wiley Periodicals 社

キーワード : 地中海食事、ぜん息、小児、メタ解析、喘鳴
